

2019年11月8日

各位

会社名 株式会社 海帆
代表者名 代表取締役社長 久田 敏貴
(コード番号：3133 東証マザーズ)

問合せ先 常務取締役経営企画室室長 木曾 憲次郎
(TEL. 052-586-2666)

通期業績予想の修正及び第2四半期業績予想と 実績の差異に関するお知らせ

当社は、2019年11月8日（金）開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月10日に発表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）及び通期（2019年4月1日～2020年3月31日）の業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正及び差異について

(1) 第2四半期累計期間（2019年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,389	百万円 △14	百万円 △15	百万円 △10	円 銭 △2.88
今回実績値（B）	2,088	△150	△151	△117	△32.85
増減額（B－A）	△301	△136	△136	△107	
増減率（％）	△12.6%	－	－	－	

※2019年3月期は、連結決算を行っていましたが、上記の実績数値は当社単体のものです。

(2) 通期（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,762	百万円 10	百万円 8	百万円 5	円 銭 1.45
今回修正予想（B）	4,283	△168	△170	△118	△32.89
増減額（B－A）	△479	△178	△179	△123	
増減率（％）	△10.1%	－	－	－	
（参考）前期実績 （2019年3月期）	4,861	△248	△250	△500	△139.38

※2019年3月期は、連結決算を行っていましたが、上記の実績数値は当社単体のものです。

2. 修正及び差異の理由

<第2四半期業績予想との差異>

売上高につきましては、競争激化などの外部環境の変化への対応が遅れた為の理由により、不採算店舗の退店及び既存店売上高実績が計画数値を下回ったことなどが影響し、前回公表予想との差異が発生するものであります。また、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましても、主として売上高の未達により前回公表予想との差異が発生するものであります。

<通期業績予想>

通期につきましても、第2四半期累計期間の業績を考慮するとともに、大型の宴会需要の減少に伴う既存店売上高の減少や新規出店の抑制に伴い売上高減少することもあり、営業利益、経常利益も前回公表予想を下方修正いたします。また、当期純利益につきましては、前述の要因に加え、減損損失の計上も見込まれるため、通期の業績予想を下方修正するものであります。

このような厳しい状況ではありますが現在、餃子とハイボール酒場を特徴とした「熱々屋」へ業態転換した店舗につきましては、売上が好調であります。当社は、これらの新業態の開発に取り組むとともに、「なつかし処昭和食堂」業態の立て直しを図ってまいります。引き続き、お客様及び従業員の満足度を重視するとともに、人材教育と育成に注力し、既存店舗のサービス力向上に努めてまいります。

(注) 本資料における業績予想は、発表日時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって業績予想と異なる場合があります。

以 上